

## 第69回秋季東北地区高等学校野球宮城県大会

□大会第5日目 9月24日(土)

準決勝 楽天Koboスタジアム宮城 1時間44分

仙台育英	1	3	1	2	0	0	0	7
仙台城南	0	0	0	0	0	0	0	0

( 7回コールド )

(球) 雁部 (一) 加藤正 (二) 松下 (三) 手塚

【仙】 長谷川・佐藤・佐川 一 尾崎・渡部

【仙】 浅野友 一 山内

▽暴投 なし

▽捕逸 なし

	打	安	点	盗	犠	四	三	残	失	併
【仙】	32	10	6	3	1	1	2	6	0	0
【仙】	23	4	0	0	1	1	5	4	3	0

▽本塁打 なし

▽三塁打 西巻(育), 浅野友(城)

▽二塁打 佐川, 尾崎, 斎藤, 山田, 鈴木 (育) なし (育)

## 【評】

仙台育英は、序盤から仙台城南の主戦浅野友の立ち上がりを攻め、10本の長短打で圧倒し、7回コールドで勝利した。初回二死後から連続二塁打で先制。2回は8番小川、9番長谷川の連続安打と1番西巻の四球で一死満塁とし、三塁牽制悪送球、2番齋藤の走者一掃の左二塁打で3点追加した。3回には先頭5番山田が右二塁打で出塁。次打者で三進後、7番若山の犠飛で生還した。そして4回には先頭9番長谷川の中前安打を足掛かりに、1番西巻の右中間三塁打で加点。3番佐川の一塁ゴロの間に7点目を奪い、試合を決めた。

仙台城南は、2回先頭6番浅野友が右越え三塁打を放ち、代打齋藤の投ゴロで本塁を狙ったが、長谷川の好送球に阻まれ、得点機を逃した。仙台育英の投手陣(長谷川, 佐藤, 佐川)の前に散發4安打と打線は沈黙し、涙をのんだ。

準決勝 楽天Koboスタジアム宮城 1時間59分

東陵	1	0	0	0	0	0	0	3	0	4
利府	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2

( )

(球) 武田 (一) 高橋勝 (二) 菅原久 (三) 佐々木勝

【東】 佐藤 一 松田・三谷

【利】 遠藤・畠山・佐藤 一 二瓶

▽暴投 佐藤2(東)

▽捕逸 なし

	打	安	点	盗	犠	四	三	残	失	併
【東】	29	6	4	0	3	5	4	6	1	1
【利】	34	7	2	0	1	0	2	6	0	0

▽本塁打 なし

▽三塁打 なし

▽二塁打 なし (東) なし (利)

## 【評】

先攻の東陵は初回、1番佐々木が中前安打で出塁しボークによる二塁進塁から、3番佐藤のショート強襲安打で1点を先取した。一方、利府も4回裏、2番河井が左前安打で出塁しボークで二塁に進塁後、4番木村の中前適時打で同点に追いついた。その後、東陵・佐藤と3回から登板した利府・畠山の投げ合いが続いたが、東陵は8回、一死から1番佐々木・2番鈴木 of 四死球による出塁後、3番佐藤の左前安打で満塁とし、4番小野の押し出し四球、5番小野寺の左犠飛、6番石原の右前適時打で3点を奪い、勝利を決定づけた。利府は9回裏、4番木村の振り逃げと5番大石の中前安打で無死一・二塁とし、6番瀬戸は右翼手の好守備により打ち取られたが、7番二瓶の中前適時打で1点を取り食い下がった。しかし後続が併殺に打ち取られ、2試合連続の逆転勝利には至らなかった。